

歴史研修会

額田王の生涯を訪ね
忍阪・多武峰街道を巡る

11月11日(火)、24名がマイクロバスで忍阪を目指す。途中、桜井駅南広場でトイレ休憩と1名乗車の後、25名が忍阪の駐車場に到着。

「忍阪街道祭り」の余韻と地域の人たちの暖かい触れ合いを感じながら、生根神社、玉津島明神、舒明天皇押坂内陵、鏡女王墓、神籠石、石位寺を訪ねた。(大伴皇女の墓は時間の関係で省略) 坂東、杉本、藤田各氏の案内と岩本先生の解説により、記紀や万葉集が伝える「忍阪」をめぐる歴史と伝承が熱く語られた。

石位寺の石造浮彫「伝 薬師三尊石仏」は、地元の森本さんのご厚意で、予約なしで急遽拝観出来ることとなった。白鳳時代の石仏はかすかに色彩を残し、当時のままの姿で私たちを迎えてくれた。額田王の念持仏だったという言い伝えがある。石位寺境内から眺める忍阪の風景は、私たちにはほっとした安らぎと安堵感を与えてくれる。

この後、マイクロバスで粟原寺跡に向かう。徒歩で急な坂を上り詰めて粟原寺跡に到着、三重塔の礎石を囲んで、岩本先生から粟原寺三重塔伏鉢(国宝)に刻まれた銘文の読み下しと解説を聞く。

「比賣朝臣額田」と激動の時代を生き抜いた飛鳥時代の万葉歌人「額田王」の生涯を重ねながら、忍阪の歴史を振り返った。

倉橋溜池ふれあい公園で昼食後、談山神社を拝観した。紅葉には今少しという感じであったが、好天に恵まれ、談(かたら)い山まで5名の健脚組が登るなど、充実した1日であった。

(藤田 秀憲)

刈り払い機講習会

今回で2回目となる刈り払い機講習会。今年に当会がお世話になっているJAならけん-奈良市柏木営農経済センター・田中農業機械課長さんを講師としてお願いし、11名の参加者ながら2時間あまりの充実した講習になりました。

今回では機械の基本的な構造やメンテナンスに焦点を絞り、その上で適正な部品や消耗品等を選ぶ必要性が強調されました。特に燃料やプラグ、その他エンジンは勿論のこと、マフラーやシャフト、チョーク、クラッチ等の構造や正しい操作の方法まで、あるときは実物で、またある時は経験談を交えながら懇切・丁寧に説明をして頂きました。その上で正しい刈刃や燃料等の使用方法・選び方等についても的確に教えて頂きました。



最後には機械を使う際には

- ① 周りの状況を常に把握する。また移動する際にはエンジンを止める。
- ② 使用後は燃料を抜く。またグリスの注入も忘れずに。(特に回転音に気をつける。)
- ③ ギヤケース周辺のメンテナンスに気を配る、こと等も強調されました。

次回は実習中心の講習もいいなあ、との声も聞かれました。

(八木 順一)